

2007年6月19日

SAV (スポーツ・アクティビティ・ビークル)の先駆車 ニューBMW X5、
7年ぶりにフルモデルチェンジで全てが新しくなり、新たなベンチマークに。

ビー・エム・ダブリュー株式会社 (本社 :千葉市美浜区中瀬 1-10-2、代表取締役 :ヘスス・コルドバ)は、オンロード性能をより際立たせた4輪駆動車の新カテゴリー SAV (スポーツ・アクティビティ・ビークル)の先駆けとなったBMW X5を7年ぶりにフルモデルチェンジし、6月21日(木)より発売すると発表しました。

1999年に発表された先代BMW X5は、従来の多目的4輪駆動車のRV (レジャー・ビークル)、SUV (スポーツ・ユーティリティ・ビークル)とは異なり、オンロード性能、運動性能をより際立たせ、従来のカテゴリーとは異なるSAVを創出しその先駆けとしてこのカテゴリーのベンチマークとされてきました。

ニューBMW X5は多くのメーカーが競合車で参入し競争が激化しているセグメントで再び新たな基準を確立します。

ニューBMW X5はスポーティかつエレガントで存在感のあるエクステリアデザイン、開放的で上質な室内空間、そして卓越した走行性能を高次元でバランスした真のSAVです。

ニューBMW X5は、自身のクルマで積極的で个性的かつ自立したライフスタイルを表現し、同時に新次元の走りを満喫したいと考えているこだわりのあるドライバーにとって理想的なクルマとなっています。

ニューBMW X5の特徴

- **スポーティかつエレガントで存在感のあるエクステリア・デザインとさらに上質になったインテリア**
- **ダイナミックなハンドリングと安全性向上に寄与するアクティブ・ステアリングの採用**
- **電子制御前後駆動力配分4輪駆動システム xDriveを搭載**
- **BMW初のサード・ロー・シート(3列目シート)がオプションで選択可能**
- **高速データ通信システムFlexRayテクノロジーを世界で初めて採用したアダプティブ・ドライブがオプションで選択可能**

ニューBMW X5の室内は、iDriveやプログラマブル・ボタンのような革新的な機能を装備しつつ、柔らかな曲線を巧みに使い上質な仕上げによって開放的でエレガントなかつ使い勝手の良い室内空間を提供します。また、オプションのサードロー・シート(3列目シート)を選択すると、最大7名まで乗車可能になります。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、ニューBMW X5のフルモデルチェンジに際し、ラインアップを見直し、装備水準を大幅に標準化することによって、お客様の期待に応えます。ニューBMW X5は、アクティブ・ステアリング、アダプティブ・ヘッドライト(コーナリング・ライト付)、ランフラット・タイヤ、iDrive

システム付 HDD ナビゲーションシステム、レーザー・シート等を全てのモデルに標準装備しさらに魅力的な商品となりました。

さらに世界初の FlexRay テクノロジーを採用したアダプティブ・ドライブ(ダイナミック・ドライブ+EDC/エレクトロニック・ダンパー・コントロール)、新機能が追加されたヘッドアップ・ディスプレイや BMW で初めてのサード・ロー・シート3列目シート等のオプションを用意しています。

メーカー希望小売価格(消費税込み、その他税金、登録諸費用は含まず)

X5 4.8i 9,630,000 円

V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、4,798 cc

最高出力 261 kW (355 ps)、最大トルク: 475 Nm (48.5 kgm)

< ステップトロン尼克付き 6 速 AT、左および右ハンドル、乗車定員 5 名または 7 名 >

X5 3.0si 7,530,000 円

直列 6 気筒ガソリン・エンジン、2,996 cc

最高出力 200 kW (272 ps)、最大トルク: 315 Nm (32.1 kgm)

< ステップトロン尼克付き 6 速 AT、右ハンドル、乗車定員 5 名または 7 名 >

ニューBMW X5 の特徴

電子制御前後駆動力配分 4 輪駆動システム xDrive を搭載

電子制御前後駆動力配分 4 輪駆動システム xDrive は、ニューBMW X5 に今まで以上に高い水準を与えます。BMW が開発したこのインテリジェント四輪駆動システムの主な長所は、荒れた地形でのトラクションを強化し、あらゆる状況における運動性能を大幅に強化している点です。通常の走行状態においてフルタイム四輪駆動システムは、エンジン出力を前後のアクスルに対して 40 : 60 の割合で配分します。その後、システムは走行状態や路面の変化に対してすばやく正確かつ臨機応変に対応し、必要に応じて瞬時に駆動力の配分を変化させます。その際、BMW xDrive は電子制御式多板クラッチ付きのトランスファー・ボックスを制御し、エンジン出力を最大限に利用でき、最も効率的に路面に伝達できるホイールに正確に伝えます。その結果、xDrive はコーナリング時のオーバーステアまたはアンダーステアのわずかな傾向を極めて早い段階で相殺させ、ニューBMW X5 の運動性能を強化しています。さらにBMW xDrive は、踏み荒らされた路面におけるトラクションとパフォーマンスを補佐することにも貢献し、摩擦係数の高いホイールに駆動力を瞬時に、可変的に伝達することでオフロードでの最大限のトラクションも確保します。

・ニューBMW X5 は、FlexRay テクノロジーを採用した世界初のクルマです。

ニューBMW X5 には、世界で初めて FlexRay テクノロジーが搭載されるアダプティブ・ドライブをオプション装備品として用意しています。アダプティブ・ドライブは、ダイナミック・ドライブのアクティブ・スタビライザーと無断階のエレクトロニック・ダンパー・コントロールが巧みに連携し、コーナリング時のボディ・ロールを適正化すると共に搭乗者の快適さを損なわないようにします。それらは、ステアリング・アングル、前後や横方向の加速度等あらゆるデータを常時モニターをし、瞬時に解析、そして対応すること達成しています。

よりきめ細かな対応をする為、ニューX5 では、アダプティブ・ドライブに世界で初めて FlexRay 高速データ転送システムを採用しました。新しく開発されたこのシステムは、今までには見られなかったレベルのデータ転送能力を誇り、個々のサスペンション間でより速いデータのやりとりを実現し、刻々と変化するデータを処理してさらに高い正確性を維持しています。

アクティブ・ステアリングを標準装備

ニューBMW X5 には、サーボトニック (車速感応式) を備えたアクティブ・ステアリングが標準装備されます。アクティブ・ステアリングは、より高いレベルの俊敏性を得るために車速とステアリング角に応じてステアリング・ギア比を増減します。アクティブ・ステアリングにより、高速走行時にはギヤ比がスローとなり一層安全な方向安定性を提供し、一方駐車時や低速での操車時にはステアリングのロック・トゥ・ロック回転数がわずかに 2 回転とクイックとなりダイレクトでシャープなハンドリングを提供します。ニューBMW X5 に用意されたアクティブ・ステアリングのさらなるメリットとしては、車両の安定性に対する積極的な関与があります。例えば、路面の摩擦係数がさまざまに異なる状況でブレーキをかけても、アクティブ・ステアリングは的確かつ慎重にカウンターステアを行い、車両がコースを外れてコントロールを失うことを未然に防ぎます。

SAV として初めてランフラット・タイヤを標準装備

ニューBMW X5 には、このクラスで初めてランフラット・タイヤを標準装備しました。このランフラット・タイヤはサイド・ウォールが硬く強化されており、踏み荒らされた悪路を走行する際でもタイヤが損傷する危険を抑えています。それでもなおタイヤがパンクした場合、走行条件によって異なりますが、ドライバーは最大積載状態で最高速度 80 km/h までに抑え、最大約 150 キロの距離を走行し続けることができます。積載量が少ない場合には、最大約 250 キロの距離を走行可能です。

V 型 8 気筒ガソリン・エンジン

ニューBMW X5 4.8i に搭載された V 型 8 気筒ガソリン・エンジンは、徹底的に設計を見直し、新たな水準のパフォーマンスを引き出します。モデル・レンジの最上級車種に搭載される V 型 8 気筒エンジンは排気量 4,798 cc で最高出力 261 kW (355 ps) を発生、3,400 ~ 3,800 rpm のエンジン回転数域で最大トルク 475 Nm (48.5 kgm) を発生します。0-100 km/h 加速性能はわずか 6.5 秒* です。先代モデルに比べてエンジン出力が約 7 % も向上したにもかかわらず、燃料消費は 10/15 モードで 6.2 km/h を達成しています。これは紛れもなバルブトロニックやダブル VANOS 等革新的な技術を採用したエフィシエント・ダイナミクスが反映された結果です。(*ヨーロッパ仕様車値 (自社データ))

直列 6 気筒ガソリン・エンジン

ニューBMW X5 3.0si に搭載される直列 6 気筒ガソリン・エンジンにも、バルブトロニックやダブル VANOS 等最先端のエンジン技術が採用されています。この 3.0 リッターのパワー・ユニットは、卓越した高回転性能と、極めて滑らかな回転性が調和良く組み合わせられています。最高出力は 200 kW (272 ps) で、最大トルクは 315 Nm (32.1 kgm) / 2,750 rpm です。マグネシウム-アルミニウム複合素材製クランクケースの採用により、この新しい 6 気筒エンジンの総重量は 161 kg と、先代モデルよりも 10 kg 軽量化されています。これはバランスの良い前後軸重量配分にも貢献し、それによって高い俊敏性と燃費向上を実現しています。BMW X5 3.0si の 0-100 km/h 加速性能は 8.1 秒* です。このエンジンも、エンジン出力が約 18 % も増加したにもかかわらず、燃料消費は 10/15 モードで 8.0 km/h を達成しています。(*ヨーロッパ仕様車値 (自社データ))

新デザインの電子制御式 AT・セレクター・レバー

ニューBMW X5 のオートマチック・トランスミッションは、初めて装備された新しいデザインの電子制御式 AT・セレクター・レバーを使って操作します。ギアシフト・パターンは通常のオートマチック・トランスミッションと同じですが、シフト操作後はセレクター・レバーが必ず所定位置に戻ります。

トランスミッション・マネージメントはもはや機械式ではなく、電気信号によって作動するようになりました。マニュアルでシフトする場合、ドライバーは単にセレクター・レバーを前後に押すだけでマニュアル・シフトができるようになります。短く、人間工学的に使いやすいシフト・ストロークによって、快適で確実な操作が可能になっています。しかも、新しい AT・セレクター・レバーの採用に伴い、多くの収納部やカップホルダーなどのための十分なスペースをセンター・コンソールに用意でき、さらに便利になりました。

3 列目に 2 つのシートを追加

ニューBMW X5 が提供する優れた柔軟性を示すもう 1 つの特徴は、リアに 3 列目のシートを組み込むことのできるオプションが設定される事です。このオプションを装備すると身長が約 170 cm までの乗員が 2 名快適に乗車できる、スペースが提供されます。これら 2 つのシートは、3 点式 ELR シートベルトと高さ調節式ヘッドレストを備えています。3 列目のシートへの乗り降りを楽しむため、2 列目のシートはバックレストを倒すことなく座面と共に前方に移動させることができます。また、C ピラーの内張りにはリアへの乗り込みに便利なグリップが用意されています。3 列目のシートを使用しない場合は、個別にまたは同時に折りたたんで、ラゲッジ・ルームのフロアに完全に収納することができます。

大きくなったラゲージ・スペース

3 列目のシートを装備していないモデルの場合、ラゲッジ・ルーム・フロア下にある追加の収納部にはさらに 90 リットルのスペースがあります。VDA 基準による全ラゲッジ・ルーム容量は、ニューBMW X5 の 5 座席仕様で 110 リットル (22 %) も増加し、620 リットルです。また、2 列目の非対称分割シートを完全に折りたたむとラゲッジ・ルーム容量は 1,750 リットル (先代モデルと比べて 200 リットル :13 % 増) と圧倒的に広くなります。3 列目のシートを使用している状態でも、ラゲッジ・ルーム容量は 200 リットルとゆとりある広さを誇ります。

インテリジェント・ライトウェイト構造 :より高い剛性を達成しながら重量は変わらず

ニューBMW X5 は先代モデルより大きくなったにもかかわらず、BMW のエンジニアはニューBMW X5 の重量をあまり増やすことなくボディ剛性を高めることに成功しています。重量を大幅に増やさずに追加のスペースと一層高い剛性を得るため、BMW の専門家は一貫してインテリジェント・ライトウェイトテクノロジーを追求しました。素材の選択や負荷分散エレメント、バー、サポートなどの配置や構成は、全体的なコンセプトを基にしており、卓越した俊敏性と衝突時の最大限の安全性を考慮して設計されています。先代モデルと比べて、ねじり剛性は 23,500 Nm / degree から 15 % 増加して 27,000 Nm / degree になりました。

頑丈なパッセンジャー・セル、幅広い安全関連装備品

ニューBMW X5 で最も重要なパッシブ・セーフティに関わる部分は、丈夫なパッセンジャー・セルです。ニューBMW X5 の室内には、フロント・エアバッグや腰部/胸部保護用サイド・エアバッグだけでなくカーテン式ヘッド・エアバッグを標準装備しました。このヘッド・エアバッグは、必要なときに A ピラーのカバーとレーフ・ライニングから展開し、前席と 2 列目の乗員を確実に保護します。

車両がもし転覆しそうになった場合、ニューBMW X5 のロールオーバー・センサーがカーテン・エアバッグとベルト・ラッチ・テンショナーを作動させます。また、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) とネットワークでつながるこれらのセンサーは、システムの早い段階で適切に反応します。

8 つのプログラマブル・ボタンを持つ BMW iDrive

ナビゲーション、エア・コンディショナー、エンターテイメント、コミュニケーションなどの機能を的確に制御・操作するため、ニューBMW X5 にもすでにトレンドとなっている BMW の iDrive を装備しています。周囲の照明の明るさに応じて自動的にディスプレイの明るさを調節する新しいモニターは、インスト

ルメント・パネルの最適な位置に配置され、ドライバーがいつでも、また道路からわずかに目を離すだけで、表示を読み取ることができるようになっています。

さらに、ドライバーはお気に入りの機能を 8 つのボタンに自由に割り当てることができるプログラマブル・ボタンを採用し、操作をさらに使いやすく設定することができます。例えば、1 つのボタンを 1 回押すだけで、ドライバーは特に頻繁に使用する電話番号を呼び出したり、ナビゲーションのよく訪れる目的地をセットしたり、好みのラジオ局を選局したりすることができます。

走行に関連する情報をフロントガラスに表示

また、SAV セグメントではとても斬新なオプションとして、走行に関連する情報をフロントガラスに表示できるヘッドアップ・ディスプレイを設定しています。このヘッドアップ・ディスプレイは走行に必要な情報をフロントガラスにその明るさや高さを調節することで見やすい位置に投影することが可能です。これによって走行速度、ナビゲーションのガイダンス、スピーチ・コントロールの情報やチェック・コントロールによる警告などを適切にドライバーの目の前に表示することで、安全で楽しい走行ができます。

	X5 3.0si	X5 4.8i
	5 ドア右ハンドル	5 ドア右 / 左ハンドル
	6 速AT	
型式	ABA-FE30	ABA-FE48
寸法 重量		
全長(mm)	4860	
全幅(mm)	1935 *1	
全高(mm)	1765	
ホイールベース(mm)	2935	
トレッド 前/後(mm)	1645/1650	
ラゲージルーム容量(l)*4	620*4-1750	
乗車定員(名) *2	5	
車両重量(kg) *2 *3	2100	2250
車両総重量(kg) *2 *3	2375	2525
エンジン		
型式	N52B30A	N62B48B
種類	直列 6 気筒 DOHC	V 型 8 気筒 DOHC
総排気量(cc)	2996	4798
ボア×ストローク(mm)	85.0×88.0	93.0×88.3
最高出力(kW[ps]/rpm) (EEC)	200[272]/6650	261[355]/6300
最大トルク(Nm[kgm]/rpm) (EEC)	315[32.1]/2750	475[48.5]/3400-3800
圧縮比 :1	10.7	10.5
燃料供給装置	デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME/電子燃料噴射装置)	
燃料 / タンク容量(l)	無鉛プレミアムガソリン / 85	
燃料消費率 10.15 モード(km/l)	8.0	6.2
トランスミッション		
形式	電子油圧制御式ステップトロニック付 6 速 AT	
変速比	1 速	4.171
	2 速	2.340
	3 速	1.521
	4 速	1.143
	5 速	0.867
	6 速	0.691
	後退	3.403
最終減速比	4.444	3.909
サスペンション		
フロント	ダブル・ウィッシュボーン式、コイル・スプリング、スタビライザー	
リア	インテグラル・アーム式、電子制御エア・スプリング、スタビライザー	
ブレーキ		
主ブレーキ形式(前 / 後)	ベンチレーテッド ディスクベンチレーテッド・ディスク	
ステアリング		
形式	ラック&ピニオン式サーボトロニック・パワー・ステアリング	
最小回転半径(タイヤ)(m)	6.4	
タイヤ / ホイール		
タイヤ	255/55R18	
ホイール	8.5Jx18 アロイ,	

*1 オプション設定の 20 インチ アロイ ホイール、ワイドアーチモール装備車の場合、1990mm となります。

*2 サードロー (3 列目) シート装備車の場合、乗車定員は 7 名となり 車両重量は 80kg、車両総重量は 190kg 重くなります。

*3 電動パノラマ・ガラス・サンルーフ装備車の場合、30kg 重くなります。

*4 サードロー (3 列目) シート装備車の場合、サードロー シートを格納時にラゲージルーム容量は 525 L になります。